

ポリウレタン材料事業に関する 韓国SKC社との合併会社設立

Mitsui Chemicals and SKC Establish New Joint Venture of
Polyurethane Material Businesses



Dec. 22, 2014
三井化学株式会社

1. 三井化学のウレタン事業の方針

①国内最適生産体制の構築

②システム事業のグローバル拡大

③特殊イソシアネート事業の拡大

ポリウレタン材料事業部

汎用ウレタン原料は、競争力劣位のプラントを停止し、競争力ある設備で最適生産体制を確立

コーティング・機能材事業部

特徴ある特殊イソシアネートで、コーティング・機能材事業の強化・拡大

千葉ポリオール停止
(2012年6月)

▲28KTA

有機酸事業譲渡
(2014年10月)

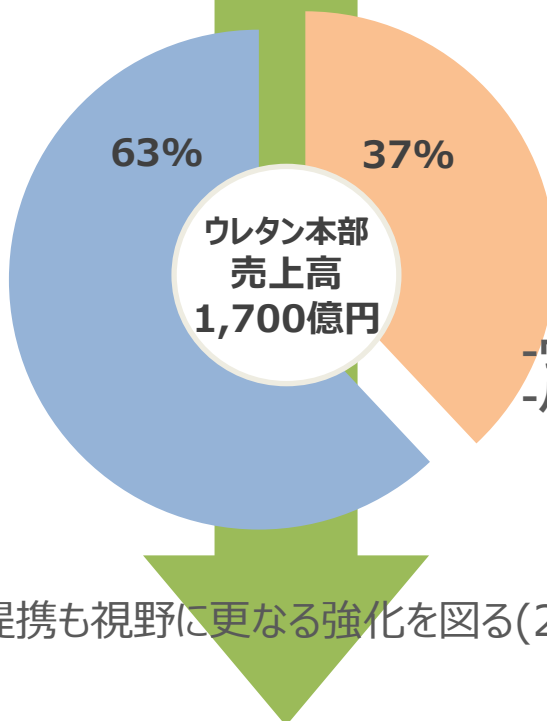
▲47KTA

鹿島TDI停止
(2016年5月)

▲117KTA

大牟田MDI停止
(2016年5月)

▲60KTA



XDI大型設備新設
(2015年10月)

+5KTA

新規特殊イソ事業化
(2016年8月)

-ウレタンエラストマー/FORTIMO
-バイオイソシアネート/STABiO

+2KTA

他社との提携も視野に更なる強化を図る(2014年2月)

システム事業を中心に、ポリウレタン材料事業のグローバルな事業展開強化のため
韓国SKC社と合併会社を設立し

グローバルに価値を提供する総合ポリウレタン材料メーカーへ

2. 本プロジェクトの概要

両社のポリウレタン材料事業に関わる**製造・販売・研究開発機能を統合**

連結売上高
(2015年度)

1,500 million US\$ (約1,800億円)

連結人員

約650名

設立日

2015年4月1日設立予定

出資比率

50:50

取扱製品



ポリオール

システム製品

TDI

MDI



ポリオール

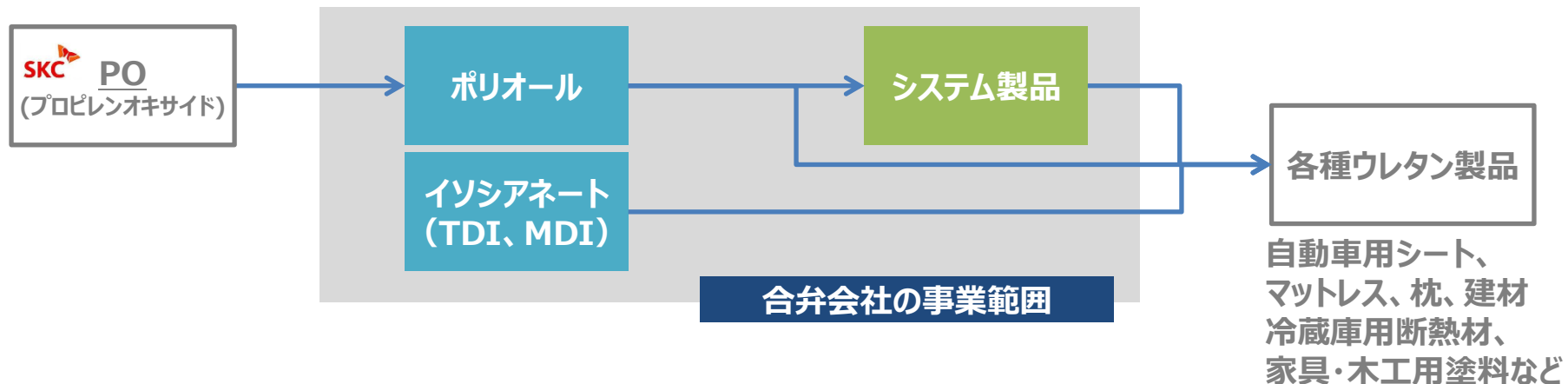
システム製品



※現時点で、合併会社の社名は決まっておりません

3. 事業統合のコンセプト

- TDI・MDI・ポリオール・システム製品全てを保有する『アジア最大の総合ポリウレタン材料メーカー』を創設
- 両社の優位性を更に強化し、自動車・家電分野でのグローバル展開を強化
- 原料プロピレンオキサイドからポリオール、システム製品までの一貫体制構築による競争力の強化



4. 事業統合と両社の優位性



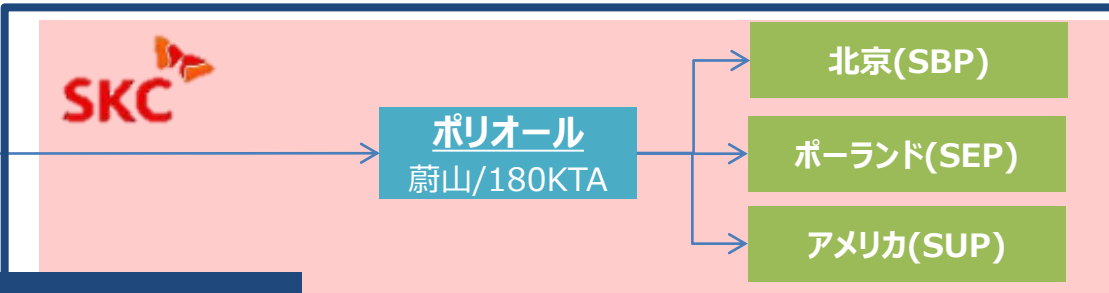
PO
(プロピレンオキシド)
蔚山/310KTA

TDI事業
MDI事業

ポリオール事業

システム事業

両社の優位性

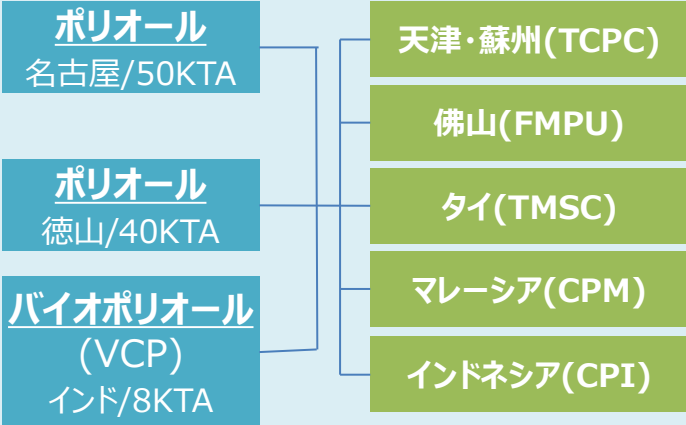


- 原料POからの一貫競争力
- 韓国系自動車・家電メーカーの顧客基盤
- 欧米中3極のシステムハウス

合併会社の事業範囲



Mitsui Chemicals



- アジアでの充実したシステムハウスネットワーク
- 日系自動車・家電メーカーの顧客基盤
- 競争力あるプラント
- 卓越した技術開発力

JVの生産能力

MDI :260KTA
TDI:237KTA
Polyol:270KTA
BioPolyol:8KTA

MDI(KMCI)
韓国/200KTA

TDI
大牟田/120KTA

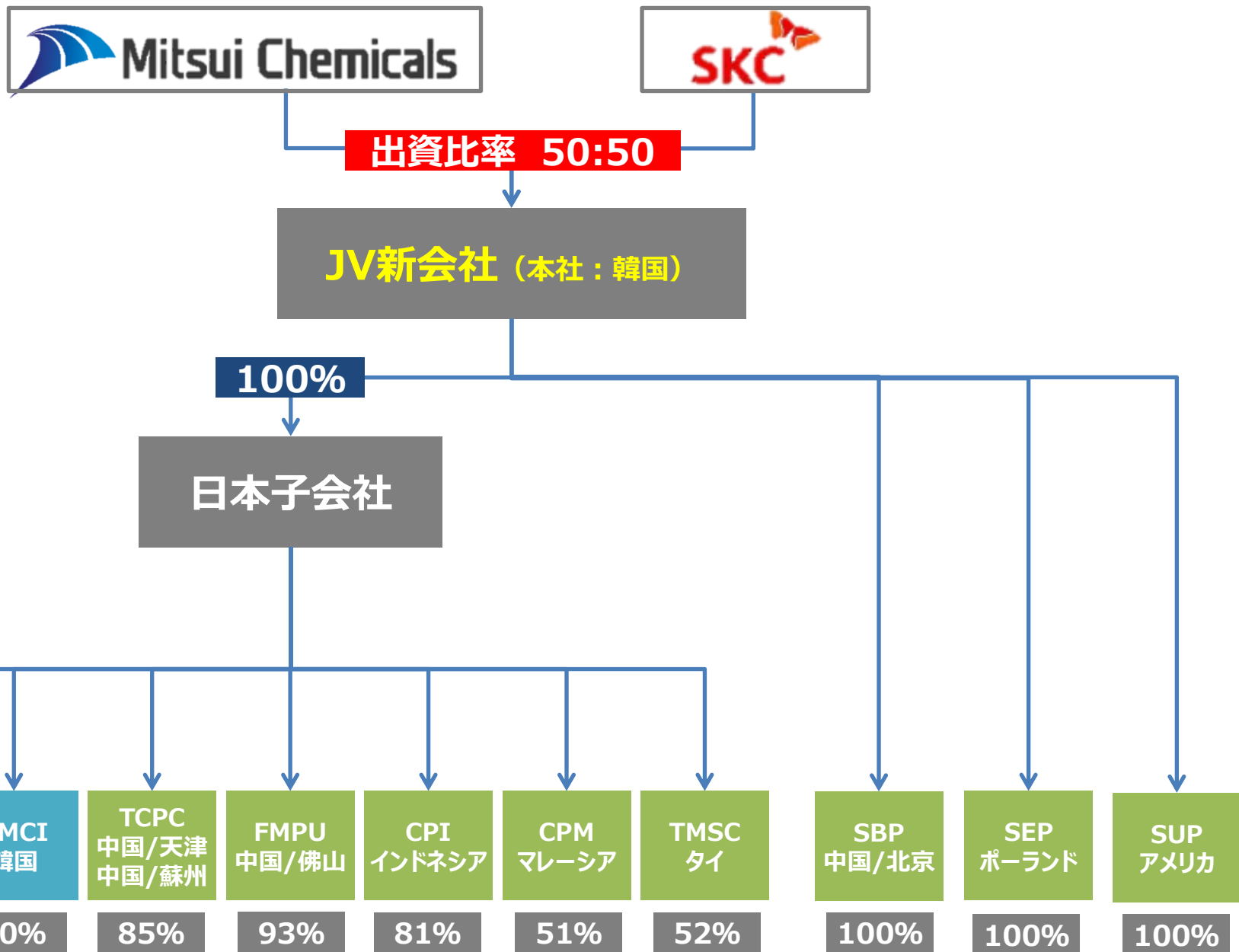
TDI
鹿島/117KTA

MDI
大牟田/60KTA

※大牟田、鹿島工場は、
合併会社からTDI、MDIの製造を受託する

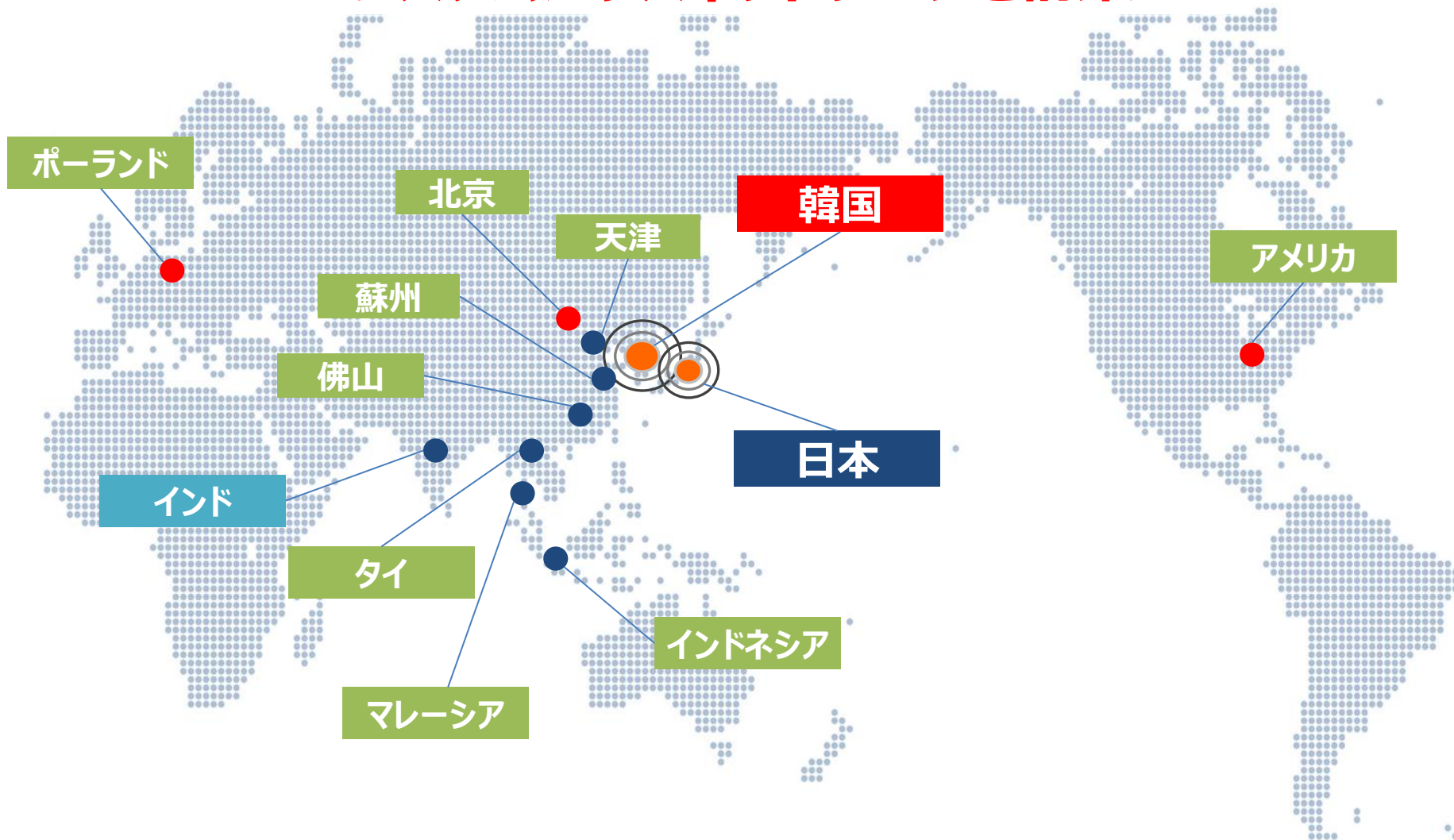
2016年5月停止

5. 全体ストラクチャー最終形



6. システム事業のグローバルネットワーク

アジアのみならず、欧米もカバーする
システムハウスネットワークを構築



7. シナジー効果

- 両親会社の顧客、販売ネットワーク、製造拠点の共有による増販
- 両親会社の技術、製造ノウハウ、品質管理の共有によるコスト改善
- 研究開発の加速と効率化など

約 **20+ α** million US\$ のシナジー効果

8. JVの基本戦略と目標

JVの目的

**総合ポリウレタン材料メーカーとして、
顧客に対してグローバルに価値を提供する**

JVの 基本戦略

成長市場の需要獲得

アジア・米・欧の世界3極をカバーする拠点ネットワークと
両社が培った顧客との強固な関係をフル活用し、成長需要を獲得

新規事業をグローバルに展開

両社の豊富な製品群と優れた技術力を融合し、新規用途や顧客を獲得

収益性の向上

経営資源の効率的運用、競争力ある自社原料の有効活用により
世界トップレベルのコスト競争力を確保

目標
(2020年近傍)

売上高
2,000 Million US\$

9. まとめ（三井化学ウレタン事業の戦略）

①国内最適生産体制の構築

競争力あるプラントを残し、
競争力劣位のプラントを停止

千葉ポリオール停止
(2012年6月)

▲28KTA

有機酸事業譲渡
(2014年10月)

▲47KTA

鹿島TDI停止
(2016年5月)

▲117KTA

大牟田MDI停止
(2016年5月)

▲60KTA

②システム事業のグローバル拡大

他社との提携も視野に
更なる強化



韓国SKC社とJVを設立
(2015年4月1日)

グローバルに価値を提供する
総合ポリウレタン材料メーカーへ

③特殊イソシアネート事業の拡大

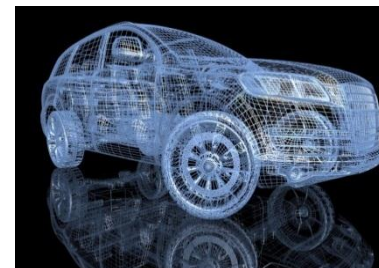
コーティング・機能材事業の
強化・拡大

XDI大型設備新設
(2015年10月)

+5KTA

新規特殊イソ新設備
(2016年8月)

+2KTA



ウレタン事業のポートフォリオ変革は着実に進捗

10. まとめ② (三井化学ウレタン事業の戦略)

諸施策実施前

実施後

TDI

大牟田 (120KTA)	鹿島 (117KTA)
-----------------	----------------

大牟田 (120KTA)	16年5月 停止
-----------------	-------------

MDI

大牟田 (60KTA)	韓国KMCI (200KTA)
----------------	--------------------

16年5月 停止	韓国KMCI (200KTA)
-------------	--------------------

ポリオール

千葉ポリオール (28KTA) 12年6月停止	名古屋 (50KTA)
徳山 (40KTA)	

	名古屋 (50KTA)
徳山 (40KTA)	インド バイオポリオール (8KTA)

**システム
製品**

中国、ASEAN
6 拠点

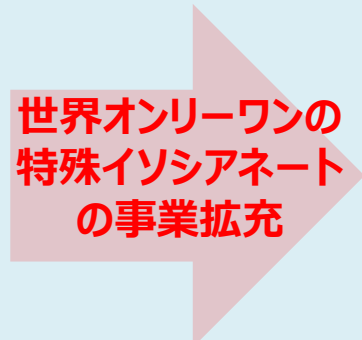
中国、ASEAN
6 拠点



SKC社とのJVA

**特殊
イソシアネート**

鹿島	大牟田
----	-----



XDI増強 (5KTA)	新規特殊イソ新設 (2KTA)
名古屋、エムシー工業 特殊イソ誘導体 新設	

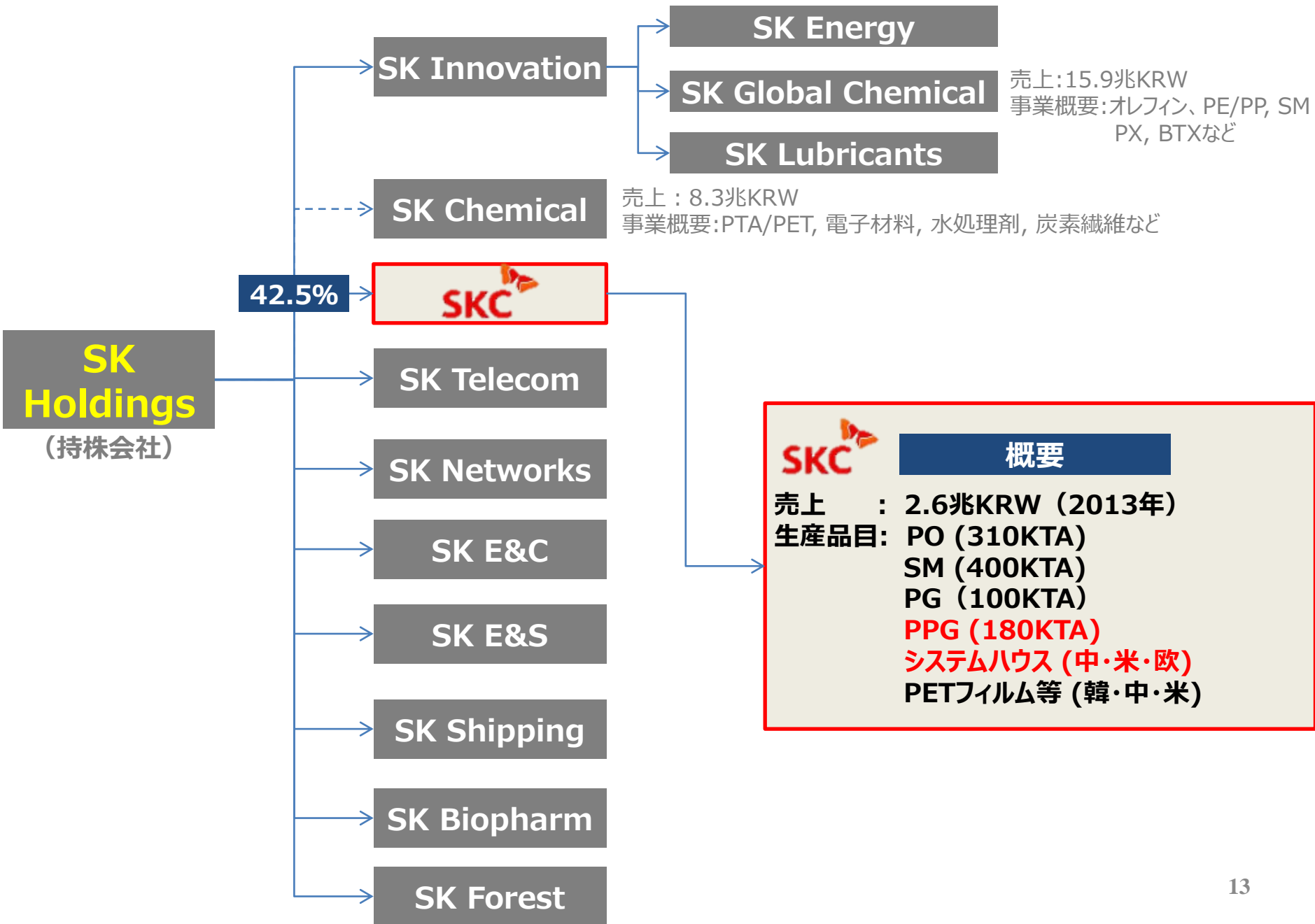
事業ポートフォリオを変革し、安定収益を確保する体制を構築

新たな顧客価値を創造し
事業活動を通じて
社会課題を解決する

(完)

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

補足1. SKグループとSKC社について



補足2. 統合後の拠点

JV Capacity
MDI :260KTA、TDI:237KTA
Polyol:270KTA、Bio-Polyol:8KTA

